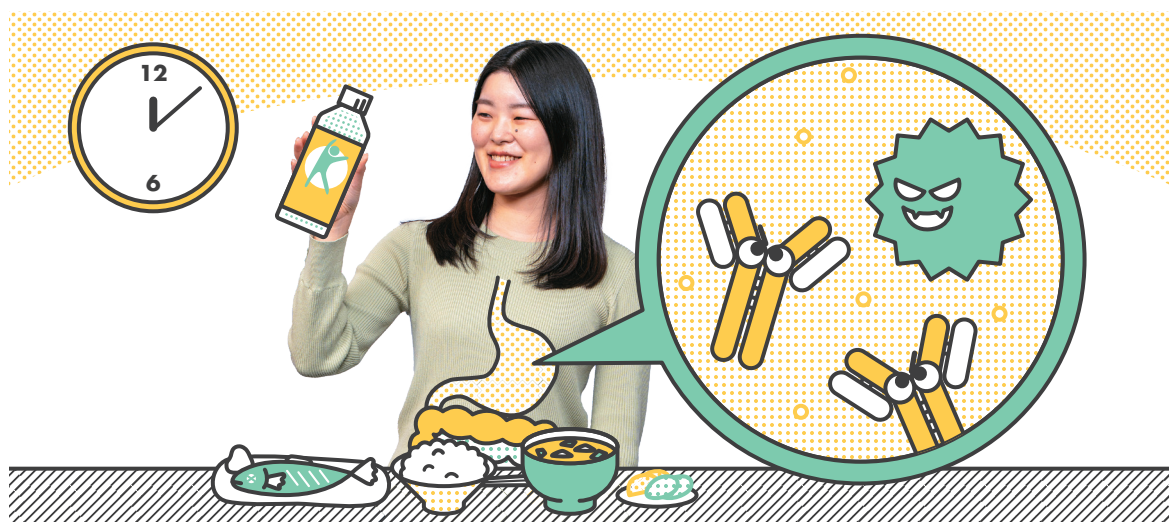




食品が健康に及ぼす影響って何ですか？

A 例として、食べることで抗体が得られます。抗体は病気などを防ぎますが、抗体と食の関連には未解明な部分がたくさんあります。



抗体と食、健康の関連性を研究し、高齢化社会の救世主に。

高齢化が進む中、健康寿命の延伸や病気になる前の未病・予防に好影響をもたらす食品について、多方面で研究が進められています。食事の栄養バランスや食べる量、タイミングなどが健康にとって大切な要素であることは知られているものの、そのメカニズムは解明されていない部分が多いのも事実。人間の血液中や腸内にある抗体は、ウイルスや病原体にくっつき、それらが人の細胞に感染するのを防いでくれる救世主的存在です。私の研究では、食べる物によってどのような抗体ができるか、ある食品からはどういう健康効果が得られるかなどを明らかにしています。さらに食生活が大きく影響する糖尿病などを例に、病気になるとどのような抗体が増えるのか、どのように抗体が変化するかといった研究も進行中です。各抗体と食品、健康の関連性を追求しています。

「機能性表示食品」に関わる新たな機能の発見を目指し、研究を深める。

2015年に「機能性表示食品」制度が始まり、パッケージに機能性が表示された食品(菓子、飲料など)を多く見かけるようになりました。今後も食と健康の関係性に着目し、免疫系、抗体の解析に関する研究を続けることで、新しい食品の機能性や、食品が免疫系に与える影響について明らかにしたいと考えています。さらに研究を深めることで、「機能性表示食品」に新たに追加されるような発見をし、成果につなげたいです。抗体と食の関係性は未解明な領域が多く、新たな機能が見つかるかもしれないという可能性に思いを馳せると、胸が躍ります。食と健康の関わりは誰にとっても身近なテーマであり、自分ごと化しやすい分野です。一人でも多くの方の、豊かで健康な日常に貢献できるような発見を目指して、学生と共に研究を続けていきたいと思っています。



近澤 未歩 先生

Chikazawa Miho

管理栄養士の資格を取得後、知識を深めるため大学院へ進学しました。修了後は東京の研究室で研究員を務め、名城大学へ。食品と病気の関係性を究明し、新しい発見を追い求めながら、いつか自分の研究を確立させるのが目標です。

お気に入りアイテム



美術館のグッズ

美術館巡りが趣味で、図録や気に入った作品のポストカードを購入するのも楽しみです。美術館の静かな空間で芸術と向き合う時間は、研究のことを忘れてリフレッシュするのに最適。美術展を目的に普段行かない場所を訪れるのも醍醐味です。